

2024年6月26日

YACかわら版472

ファルコン9

6月24日(12:47JST)ヴァンデンバーグ宇宙軍基地SLC-4Eから、20基のスターリンクV2衛星をのせたファルコン9ロケットの打ち上げをロングビーチから見た方の写真です。たそがれ時の空を神秘的に進んでいます。

あたりが薄暗くなっていくなか、急上昇していく飛行機雲が西のかなたの太陽の光をうけて輝いているのをみた記憶を思い出しました。ファルコン9から離れた推進剤等からの排気粒子が凝縮し、凍結し、密度の低い上層大気で膨張するときこのような現象が発生するのでしょうか。かなたの太陽光を反射して色彩豊かな光景がゆっくり流れていったのでしょうか。うらやまし景色ですね。

@lbdice

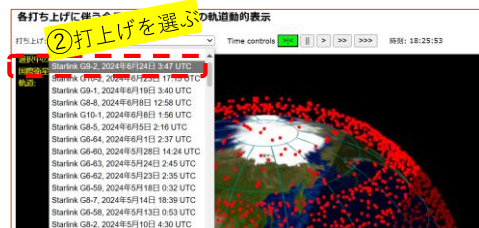
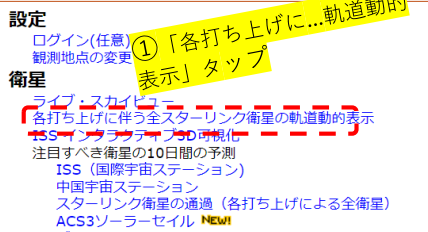
今回打上げられたのはスターリンク衛星は20基です。うち13基はDirect to Cell機能(直接スマートフォン機能)をもっている新しいタイプの衛星です。

ファルコン9は、かつては56基ものスターリンク衛星を軌道に運んでいた例もありました。なぜ衛星数が少ないのでしょうか。ヴァンデンバーグから打上げられたスターリンク衛星は、徐々に設定された軌道にホールスラストをつかって移動していきますが、初期の段階では、まるで「銀河鉄道」のように一列に並んでいるところが観察されています。

YACかわら版358スターリンクトレイン

「ヘブンズ - アバブ」サイトを利用すると、最新のスターリンク衛星情報が得られます。

<https://www.heavens-above.com/>



同じロケットで打上げられた衛星群が散開していく様子が確認できます。



サンディエゴでのイベント会場上空

@SERobinsonJr



20基の衛星

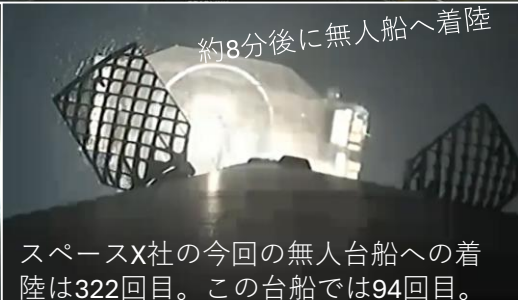
太平洋

T- 00:01:52

SpaceX Starlink Group 9-2

第1段ブースター
番号B1075

台船着陸の第1段は11回目成功。



約8分後に無人船へ着陸

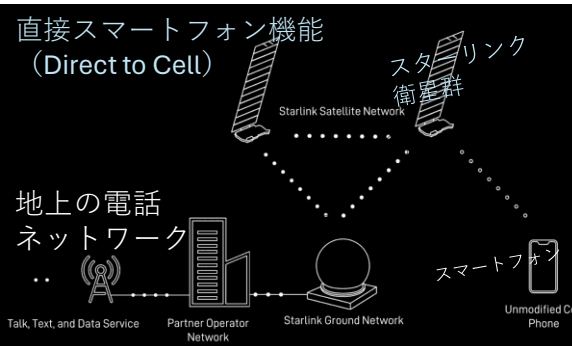
スペースX社の今回の無人台船への着陸は322回目。この台船では94回目。

B1075ブースターは、約100日前の3月19日打上スターリンク7-16ミッションで使用されました。3月21日に母港に帰港。当たり前のようにファルコン9で展開されている、ブースター回収・再利用はすさまじい技術です。第1段のブースターの回収・再利用は他の国でもテストが行われているようです。

母港
ロングビーチ



@ShorealoneFilms



個人のLTEスマートフォンと衛星が直接接続し、相手と交信することができます。「空が見えている場所からどこでも...」ということを強調しています。

* 特記ない画像はすべて©スペースX